

令和元年7月5日

市川市長 村越祐民殿

海外渡航自粛を求める申し入れ

今般のいわゆる“テスラ騒動”により、多くの市民はこれまで期待・評価していた村越市長に裏切られたような気持ちを抱いており、また、村越市政そのものに対する不信感を募らせている。

その理由は、主に、

- ・テスラ導入について、朝日新聞（6月8日付）にて報道されて以来約1ヵ月が経過しようとしているにもかかわらず、村越市長が市民に対して一切の説明を行っていないこと
- ・6月27日に行われた一般質問に際して、村越市長を筆頭とする答弁者が、テスラ導入について市議会が納得できる説明をできなかったこと
- ・7月2日のテスラお披露目に際して、村越市長が報道陣からの取材を受けることなく、報道陣の前から逃げるようにその場を立ち去ったこと

といった点にあると考える。

“信なくば立たず”という言葉があるように、市政を遂行していくには市民との信頼関係が何よりも重要であることは言うまでもない。

ところで、村越市長は7月6日(土)よりアジア太平洋都市サミット出席のため、7月11日(木)までの日程でオーストラリア連邦ブリスベン市を訪問する予定とのことである。しかしながら、テスラ問題について、市民に対して「説明を尽くしていく」「折に触れて順次説明して参りたい」と言っておきながら、それを実現することなく6日間も海外出張に出掛けることについては、市民から理解が得られないばかりか、村越市政や村越市長に対する不信感を増幅させてしまうことは火を見るよりも明らかである。目下、村越市長にとっても市川市政にとっても重要なことは、村越市長が予定通りに海外日程をこなすことではなく、市民の前に姿を現してテスラ問題について自らの考えを真摯に語り、市民との信頼関係を再構築する姿勢を見せる点にあるものと確信する次第である。

よって、私たち市議会議員有志一同は、村越祐民市長に対し、明6日(土)からの海外出張を自粛するとともに、テスラ問題について早期に市民に対して自ら説明するよう要請するものである。

以上